

☆各事業の紹介☆

生活介護事業

今年度は、利用者さま20名(男性16名、女性4名)職員5名でのスタートになりました。新しい職員や異動もなく、利用者さまの行動グループも前年度と変更はありません。

朝礼前に体力維持や筋力の低下を少しでも防げるように『ラジオ体操』第一と第二で身体を動かした後、職員日替わりでストレッチや筋力トレーニングをしています。毎日、違う運動が楽しいようで皆さん笑顔で身体を動かされています。

午前と午後の休憩前も、軽くストレッチを行い時間のメリハリを感じていただけるように取り組んでいます。

施設内の作業は『はし豆』『塩』『内職』『紙ちぎり』さをり(月2回)『自主製品作成(不定期)』、屋外の作業は『勝部清掃』『空き缶回収』『空き缶整理』等があります。

それぞれの作業の工程を覚えていただき、出来上がった商品の納品や店番での販売で商品の流れを見ていただくことで達成感を感じていただき、次への活力になればと思っています。

作業以外での取り組みとして、3週間ごとの行動グループでのウォーキングや『遊友』で月2回の高齢者の方との交流。リラックスタイムや創作活動は利用者さまの様子を見ながら取り入れています。

現在“高齢化”が進む中、それぞれ利用者さまのニーズにどこまで合わせていけるか、日々試行錯誤です。

みんなで一緒に活動する中で一人一人無理なく、作業や行事、地域活動を通じて利用者の皆様が楽しく笑顔で過ごせる場を作っていきたいと思っています。(岡部)

就労継続支援B型事業

今年度の就労継続支援B型事業は、利用者さま・職員とも入れ替えはなく利用者22名、職員5名となります。

事業内で、紙漉きグループ7名→5名、織グループ5名→6名、内職グループ11名→11名と、継続して組まれる方やグループを異動して気持ちを新たに取組まれる方など、職員も利用者さまとともに頑張っています。

今年度は”運動の機会の確保”の一環として、朝のラジオ体操を”第一”だけでなく、”第二”も取り組むことにしました。まだ始めたばかりで、利用者さまも職員もあまり覚えておらず「次は?」「あれ?間違えた!」などと一緒に楽しみながら身体を動かされています。

月額平均工賃は昨年度は10,710円でした。今年度も平均工賃1万円を目指して頑張っています。

例年取り組ませていただいている”水路清掃”は、今年度より作業区分が変更され、コースが2つから1つになりましたが、1コースの清掃回数が倍に増えました。回数的には例年と変わりないのですが、ゴミの不法投棄などが多い場所の清掃回数を増やすことで、重点的に美化に努めることになりました。

参加していただいている利用者さまは「今日、ゴミ多かったよ!」「〇〇のゴミがあったよ!」などと毎回報告してくれます。今年度も新たに参加希望を募り、希望者の中で当番表を作成し取り組んでいただいています。

自主製品については、日々頭を悩ませながらもアイデアを出し合い、新商品の開発や既存の商品の作製に取り組んでいます。

就労B型は毎日元気で何事も明るく、楽しみながら取り組まれていますので、今年度も昨年までの自分たちに負けず、元気に明るく楽しんで日々を過ごしていきたいと思えます。(田中)

味覚狩り・芸術鑑賞に行ってきました!!

2月8日(金)に生活介護の味覚狩りでした。

まずは、みらいのバスで揺られながら猪名川イオンモールへ。

今年はサイゼリヤで昼食を摂りました。事前に9種類のメニューから皆さんに好きなものを選んでいただき、それが自分の元に届くと嬉しそうに召し上がられていました。昼食の後には、メインのいちご狩りへ。

毎年お世話になっている『フルーツファーム果楽土』でいちご狩りを行いました。皆さんたくさんいちごを採られ美味しそうに召し上がられました。天候にも恵まれ、皆さん一日楽しんでおられました。(吉見)



3月8日(金)と15日(金)に両事業別で芸術鑑賞に行きました。

鑑賞作品は『ドラえもん のび太の月面探査記』を観ました。生活介護は鑑賞前に『和食のさと』で天丼または親子丼のセット(小うどんまたは小そば付き)を食べ、就労B型は鑑賞後にフードコートで食べる物を選ばれて食事をしました。一日を通して皆さん楽しまれていました。後日映画館で貰ったドラえもんのストラップをカバンにかけられている利用者もいらっしゃいました。(藤野)



自主製品～紙漉き編～

今年度は5名の利用者さんと日々楽しく活動しています。交野市の『紙好き交流センター』様より酒パック等の紙資源や技術の提供を受け、日々製品作りを行っています。

紙漉き班の皆さんはそれぞれご自身の作業に自信とプライドを持たれております。外部から研修に来られた実習生さんは揃って「職人みたいですね!」と驚きの声をかけてくださることで、皆さんはより自信を深めておられます。

最近では薄い紙を漉き、より一筆箋に適した紙を作るなど商品の見直しも行っています。一筆箋、ハガキや封筒の定番商品に加え、何かヒット商品が出ないかと日々新しいアイデアを皆さんと考えております。

何か良いアイデアをお持ちの方!一度お話を聞かせてください!(松本)

